

こんなことをしています

障害があっても一市民として普通に暮らし続けたいとの思いから、
地域の方々に知っていただく活動も始めています。

豊かな暮らしのために



療育・教育の充実

知的障害のあるこどもの療育・教育の充実のため、発達以来活動を続けています。

会の芽生えは、昭和24年に第二中学校、翌年真間小学校に、特殊学級が誕生した頃です。そして昭和28年に30名程の保護者や先生方により親の会を結成。昭和32年、全国で三番目に古い市立養護学校設立以降、養護学校の高等部設立の要望、特殊学級（現支援学級）の補助教員の配置や支援学級増設の要望、療育の拠点としてのこども発達センターの要望等々活動してきました。また、定期的に教育委員会との懇談会など、特別支援教育の充実のための活動を続けています。

福祉サービスの実現

行政の協力を得て、卒業後の日中活動の場としての地域作業所をはじめ、喫茶店・生活ホームなどいくつかの事業を運営してきました。その実績の上に立ち、より幅広い福祉サービス実現のため、平成6年に親の会が母体で社会福祉法人「一路会」を設立、平成16年には同じく社会福祉法人「いちばん星」を設立しました。

親の会と二つの法人は、通所や居住の場（グループホームなど）の拡充、社会参加や余暇活動支援の充実、家族支援の為にレスパイトサービス、困った時の対応など「この市川ですっと安心して暮らしていく」地域づくりのために、より一層の連携を図っていきます。

権利擁護の推進

障害を理由に不利益を被らない社会をめざします。
障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例
障害者虐待防止法に協力しています。

よりよい成年後見制度に向けた取り組み
後見支援の仕組みづくり、選挙権回復裁判の傍聴など

地域と手をつなぐ

ご近所プロジェクト
知的障害のことを知って下さい。
暮らしを映像で紹介します。
本人や家族が思いを語ります。
キャラバン隊「空」が公演します。

キャラバン隊「空」

- 公演内容
疑似体験
「言葉がわからない
伝わらないってどういうこと？」
「どんなふうに見ているの？」
「どうしてうまくできないの？」
紙芝居、寸劇など
知的障害のあるこども達の頑張りを伝えたい！心の中で思っていることが上手く言葉で表せないこども達に代わって、私たちが伝えていこうと思います。
- 公演先
小中学校、自治会、ボランティア講座など
<http://ameblo.jp/kyarabantai-sora/>

医療プロジェクト

近所のお医者さんを頼りにしたいとの願いで10年前から市川市医師会との連携が始まりました。毎年医療セミナーを開催しています。

警察プロジェクト

地域の安全は警察が頼りです。おまわりさんにも理解をしてもらおうと、警察や交番を訪問しています。

災害プロジェクト

災害対策を行政と地域の視点で学習し、備えます。
4点セットを親の会で作成配布（防災マニュアル、防災パンフレット、黄色いバンダナ、緊急連絡カード）
地域での繋がりをもちたいと、地区ごとに分かれて取り組み始めています。

その他の活動

家族への支援
講演会、勉強会、研修会・ワークショップ、レクリエーション
情報の提供・ニーズの把握
市行政への協力（自立支援協議会、審議会等）

私たちの会の会員

私たちの会は昭和28年に結成されました。
こどもが特別支援学級や特別支援学校、施設や事業所に通っている、市川市内の家族の多くが入会しています。会員数は現在900名を越えました。どなたでも入会できます。

一人で悩まず、一人で抱え込まず、私たちと手をつないでみませんか？
一緒にこの輪を広げましょう！

